

すてっぴ

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

NO.37 平成24年(2012年)4月

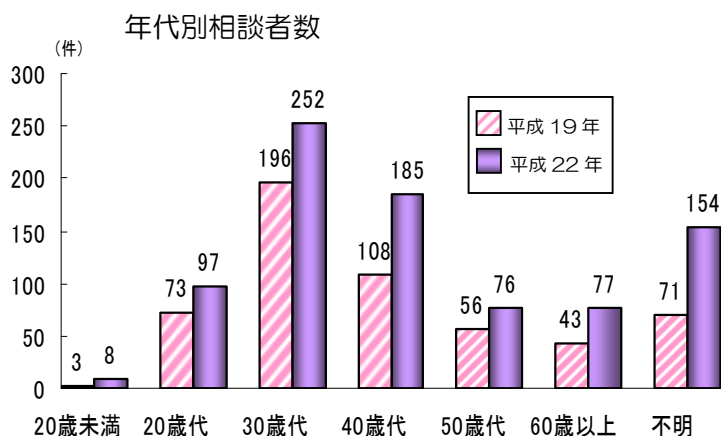
〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

☎ 03 (3996) 9005 (代表)

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

配偶者暴力をめぐる現状 — 練馬区 —

配偶者暴力に関する相談件数は年々増加し、平成22年度の配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は77,334件、警察における暴力相談等の対応件数は33,852件とともに調査以来最高の件数となりました。練馬区における実態調査によると、平成22年度の相談件数は1,670件、相談者数は849人となりました。相談者数は、前回調査の平成19年度と比較して、54%増加しています。



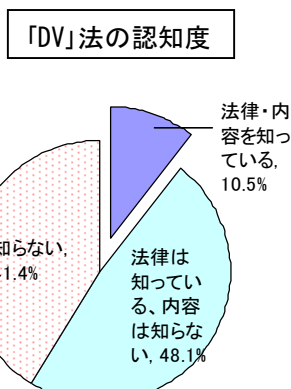
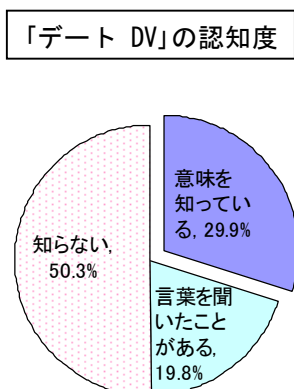
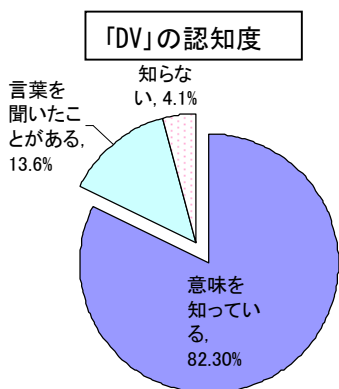
出典:「平成22年度練馬区配偶者暴力被害者支援等に関する調査」

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

配偶者や恋人など親密な関係にある相手から繰り返し受ける暴力のことをいいます。殴る・蹴るなどの身体的暴力、無視する・大声で怒鳴るなどの精神的暴力、性的行為を強要するなどの性的暴力などがあります。高校生などの、特に若い男女間で起こる暴力を「デートDV」といいます。

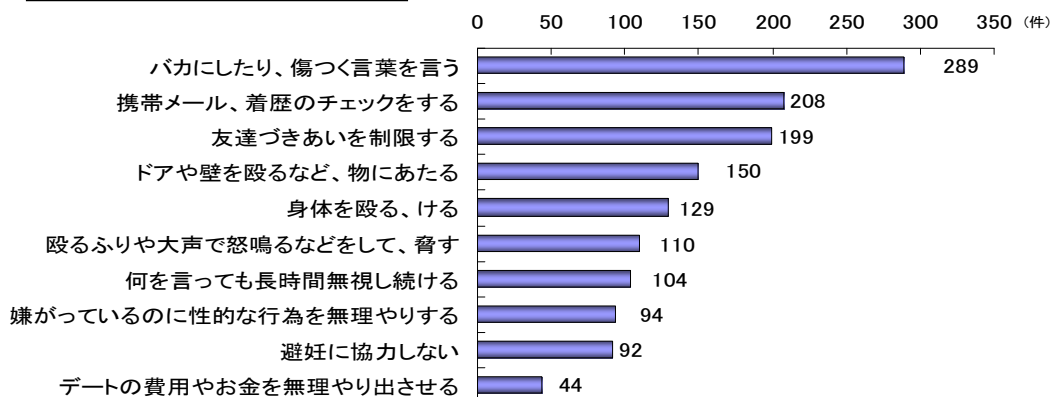
平成13年に、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」(DV法)が制定されました。その後一部改正され、脅迫を受けた被害者の保護や電話の禁止、親族等への接近禁止が制定されるなど、保護命令制度が拡充されました。

練馬区では、平成23年9月に、区内都立高校の生徒2,644人と区内在住の18歳から25歳の男女206人を対象として「デートDV意識に関する意識調査」を実施しました。約5割の人が「デートDV」を知らないと答えました。



DVは、犯罪です。
ひとりで悩まないで、
相談しましょう

デートDVをされた経験(男女)



主なDV相談窓口

- 内閣府男女共同参画局 DV相談ナビ 0570-0-55210
- 東京ウィメンズプラザ 電話相談、面接相談(予約制) 03-5467-2455 9:00~21:00
- 東京都女性相談センター 電話相談 03-5261-3110 月~金 9:00~20:00
- 練馬区立男女共同参画センター 女性への暴力専門相談(予約制) 03-3996-9050 月・金 9:00~19:00 祝日は17:00まで

図書紹介

ドメスティック・バイオレンス

内閣府の「男女間における暴力に関する調査」によると、DV 被害を受けた経験がある女性は、約 3 人に 1 人という結果です。DV は誰にとっても無縁ではありません。力による支配のない社会・女性が生きやすい社会・暴力虐待のない社会を目指すためにも是非読んでみませんか？



ドメスティック・バイオレンス

道あゆみ著
実業之日本社 2009

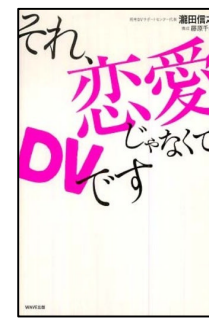
DV は他人事ではない。人知れず苦しんでいる人たちのために、そこから抜け出すためのヒントを少しでも提供したいという思いで、DV と闘うための知恵を満載。

こころの暴力 夫婦という密室で



イザベル・ナザル=アガ
紀伊国屋書店 2001

マニピュレーターとは、相手の心を支配したいという欲求が異常に強い人のこと。結婚すると態度を豹変させ、相手を精神的に追いつめていく。他の人にはわからない2人きりの場で…。



それ、恋愛じゃなくてDVです

瀧田信之著
WAVE 出版 2009

恋愛という親密な関係に潜む「見えない暴力」。「なぐる、ける」だけがDVではない。相手に支配されるのは恋愛ではない。カップル間DV 警告書。

新着図書

分類	書名	著者名	発行所
146	気まずくならない！自己主張のしかた	森田汐生	大和出版
159ㄥ	大人の女の流儀	辛淑玉	PHP 研究所
289ハ	二つの祖国の狭間に生きる	長谷川暁子	同時代社
302	ブータン、これでいいのだ	御手洗瑞子	新潮社
304	弱者の居場所がない社会	阿部彩	講談社
366	女性の賃金問題とジェンダー	竹中恵美子	明石書店
367.1	平等と効率の福祉革命	イエスタ・エスピン=アンデルセン	岩波書店
367.1	女の子からの出発	長島世津子	丸善プラネット
367.1	世界の女性 2010	国際連合	日本統計協会
367.3	夫源病	石倉文信	大阪大学出版会
481	同性愛の謎	竹内久美子	文芸春秋
498	職場ストレスでヘコまない実践テクニック	佐藤紀子	エクスナレッジ
911ㄱ	私とあなたここに生まれて	和合亮一	明石書店
914ア	聞く力	阿川佐和子	文芸春秋
914オ	「孤独の力」を抱きしめて	落合恵子	小学館
916ホ	コンニャク屋漂流記	星野博美	文芸春秋
936ハ	からのゆりかご	マーガレット・ハンフリーズ	日本図書刊行会
やま	ジェントルマン	山田詠美	講談社



オレにあやまれ！！

杉野 BEAT 著
竹書房 2010

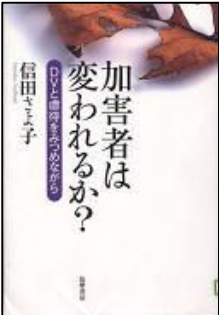
バツイチ子持ち、漫画大好きの著者が再婚した相手は…「お前なんかと結婚したのは一生の汚点だ！」などと平気で言う史上最悪暴言DV夫だった。逃げ出すまで7年間の涙の記録。



DVにさらされる子どもたち

ランディ・バンククロフト、
ジェイ・G・シルバーマン著
金剛出版 2004

DVの家庭に育つ子は情緒面や発達面に重大な影響を受ける。本書はDVが子どもの日常生活を侵食し、家族機能全般にどんな波紋を及ぼすかを浮き彫りにした。



加害者は変わるか？

信田さよ子著
筑摩書房 2009

DV や虐待はなぜ起こるのか？加害者にならないためにはどうする？加害者を知ることで見えてくるものがある。密室で起こる家庭内暴力の問題点を取り上げ、解決法を模索する。



性暴力

読売新聞大阪本社社会部著
中央公論新社 2011

優れた報道活動に贈られる坂田記念ジャーナリズム賞特別賞受賞の新聞連載を書籍化。もしもあなたが、家族が、そして恋人が、性暴力にあたらどうするか。生の声に衝撃。



時代を拓いた女たち

にかいどう
二階堂トクヨ

明治13年(1880年)～昭和16年(1941年)

明治13年、宮城県志田郡三本木村に、トクヨは4人弟妹の長女として生まれた。祖父は、戊辰戦争に破れた元藩士。父は、トクヨが高等師範在学中に48歳で亡くなった。明治28年3月、尋常小学校卒業。卒業後は准教員試験に合格し、分教場で働き始める。トクヨは、もっと上を目指したいと思っていたが、宮城県は女教員の養成を取りやめていた。あきらめきれずに、つてを頼り、福島民報社長の養女となって、福島県の師範学校に入学。卒業後、安達郡の尋常高等小学校に赴任するが、さらに上の女子高等師範学校文科を目指して、猛勉強をした。翌明治33年に入学。和歌と文学に夢中の4年間を過ごし、卒業後は石川県立高等女学校に赴任する。ここで、トクヨは思いがけず「体操」と出会うのである。

国語教師を務めるつもりが、最も苦手な体操を任されたトクヨの落胆ぶりは激しかった。体操を知的教科に比べ、下にみていたのでなおさらである。しかし、覚悟を決めて体操教師を務めてみると、不思議なことに持病も治り、健康になっていった。驚いたトクヨは、改めて体操の効用を実感し、熱心に体操を学ぶようになった。体

操専門学校出身だった宣教師ミス・モルガンの手ほどきも受け、実力をつけたトクヨは、この後高知の師範学校を経て、女子体育の先駆者、井口阿くりの後継者として、明治44年に母校の女子高等師範学校の助教授に抜擢される。さらに、翌大正1年から2年間、文部省留学生として、英国のキングスフィールド体操専門学校に学んだ。トクヨを指導したマダム・オスターバーク女史は、トクヨに生涯に渡る大きな影響を与えた。女史は、体操による身体の解放は、女性の精神の解放にもつながると考えており、体操の技術だけでなく、広い教養を身につけた体操教師の育成を目指していた。大正4年、帰国後、トクヨは「体操通俗講和」など3冊の著書を著す。女子高等師範学校の教授となるが、体操指導を巡って恩師と対立、辞職。大正11年、自分の理想を追求するため、「二階堂体操塾」(現・日本女子体育大学)を設立。「チューニック」と呼ばれる制服を着用することで有名だった。生理学・解剖学・国語・英語など広汎な領域の教育を行い、実力のある体育教師を送り出していった。大正15年専門学校に昇格。

トクヨの教えを受け、女子体育界で活躍していった多くの教え子達。日本人女性初のオリンピックメダリスト人見絹枝もそのひとりである。「女子体育は女子の手で」と我欲を捨て、女子体育普及のためにその生涯を捧げたトクヨは、昭和16年、60歳で永眠。

参考図書：「体育に生涯をかけた女性」「先駆者たちの肖像」

にゅーすBOX

1世帯2人割れ 東京都

東京都の発表によれば、元日現在の住民基本台帳を基にまとめた1世帯当たりの平均人数が1.99人となり、昭和32年の調査開始以来、初めて2人を下回った。都では、元々単身の若者が多い上、独居高齢者が増加していると分析している。

専業主婦世帯「貧困層」12.4%

労働政策研究・研修機構が全国4000世帯を調査した結果、専業主婦世帯の12.4%が「貧困層」で、妻がパートに出ている世帯(8.6%)より貧困率が高いことがわかった。専業主婦世帯では、夫の収入が低くても、子育てのため妻が働けないケースが目立つが、同じ専業主婦世帯で、夫の年収だけで生活できる富裕層と、妻が働きに出られず貧困層となる世帯の二極化が進んでいる。

男女賃金格差 最小

厚生労働省の賃金構造基本統計調査によると、平成23年のパートを除く一般労働者の男女間の平均賃金格差が過去最小となった。男性が前年と同じ32万8300円に対し、女性は前年比1.9%増の23万1900円となった。女性の賃金は20年前は男性の6割にとどまっていたが、10年前は65%程度、そして昨年は70.64%になった。女性労働者の3割が医療・福祉分野で働いており、「女性全体の賃金の押し上げにつながった」(厚労省)という。

虐待被害児童 最多

平成23年に警察が検挙した児童虐待と児童ポルノ事件で、被害児童数がいずれも過去最多であった。虐待を受けた児童は398人(前年比10.6%増)で、うち39人が死亡。検挙人数は409人で、実父が134人、実母が119人で、実の両親が全体の6割強を占めた。一方、児童ポルノ事件で特定できた被害児童数は638人で、34%に当たる217人が非出会い系サイトの利用がきっかけで、ポルノ画像が作成される被害に遭った。

イクメン家庭

厚生労働省の調査で、子どもを持つ夫婦は夫が休日に家事・育児をする時間が長いほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向があることが分かった。夫が休日に家事や育児を6時間以上する家庭では、2人目以降が生まれた割合が全くしない家庭の約7倍だった。

練馬区 「介護マーク」配布

練馬区は、高齢者や障害者を介護する家族が、駅のトイレでの介護などで誤解を受けることがないように「介護マーク」の配布を開始した。「介護中」と書かれた名刺サイズのカードを首にかけて使用する。区内総合福祉事務所などで配布。

改正派遣法 成立

派遣労働者の保護を目的とした改正労働者派遣法が成立した。改正派遣法骨子は

- *派遣元企業に手数料割合(マージン率)の公開を義務付け
- *グループ企業内派遣を8割以下に規制
- *離職した労働者を1年以内に再び派遣で受け入れることを禁止
- *違法派遣の場合、派遣先企業と労働者の間に直接の雇用関係があるとみなす「みなし雇用制度」を導入

非正社員 過去最高

労働力調査(総務省)の平成23年平均の詳細集計によると、派遣やパートなどで働く非正社員が全雇用者に占める割合は35.2%だった。非正社員の割合は、今の調査方法となった平成14年から上昇しており、今回は過去最高になった。非正規雇用で働く若者が増えた事に加え、定年退職し再雇用される人が多くなったため。正社員は25万人減の3185万人、非正社員は48万人増の1733万人。

避難所マニュアル 女性に配慮

政府は東日本大震災の教訓を踏まえ、避難所運営などで女性に配慮した自治体向けマニュアルを作成し配布することとした。生理用品など女性用物資の備蓄や、男女別トイレの設置、女性の要望を吸い上げるための仕組み作りなどを盛り込み、避難所運営や仮設住宅建設などの際に役立ててもらおうのが目的。

ストーカー警告・禁止 過去最多

平成23年、都内のストーカー行為に関する相談件数は993件と、前年に比べ39件減少した。しかし警視庁による警告は168件(同14件増)、禁止命令は17件(同6件増)と、平成12年のストーカー規制法施行以降、最多となった。

フランス「マドモワゼル」禁止

フランス政府は、「マドモワゼル」は「女性が結婚後、父親から夫の保護下に移された時代の名残。性差別にあたる」として女性団体から訴えられていたのを受け、未婚女性に対する敬称「マドモワゼル」を、必要がない限り公文書で使わないよう求める通達を自治体などに出した。通達では、女性に既婚か、未婚かの明示を強いるのは「正当な理由がない」としている。今後は「マダム」で統一。

